



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART
CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. intra-mart Accel Archiver 2015 Winter からの変更点
- 4. 製品構成・機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. サードパーティライセンス一覧
- 8. 制限事項
- 9. 保証規程
- 10. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年	
月日	変更内容
2016-05-01	初版
2016-08-01	第2版 下記を追加・変更しました ■ システム要件を変更しました。

はじめに

本書の内容

本書ではintra-mart Accel Archiverのリリース内容について記載されています。

intra-mart Accel Archiver 2015 Winter からの変更点

変更機能概要

- インポート機能の仕様を一部見直ししました。
 - インポートファイル内の組織コード、会社コード、会社セットコード、パブリックグループコード、ユーザコードに半角英数字以外の記号（「_」、「-」、「@」、「.」、「+」、「!」）を利用できるようにしました。
- タスク情報のCSV出力機能において、「文字コード」「BOM付与有無」を外部設定できるようにしました。
 - XMLファイルで設定できるよう修正しました。初期設定は「UTF-8」「BOM有」としました。

システム要件

- サーバ要件
 - Resin 4.0.47 → 4.0.48 に変更しました。
 - LibreOffice 4.4.6 → 5.0.5 に変更しました。
- intra-mart Accel Platform
 - intra-mart Accel Platform 2016 Spring を追加しました。
- クライアント要件
 - Google Chrome 46 → 49 に変更しました。
 - Firefox ESR 38.1 → 38.6 に変更しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Resin 4.0.46 → 4.0.48 に変更しました。
- クライアント環境
 - Google Chrome 46 → 49 に変更しました。
 - Firefox ESR 38.1 → 38.6 に変更しました。

制限事項

【更新された制限事項】

- [iAAでは以下の方法で変換したPDFファイルで動作確認を行っています。](#)

製品構成・機能一覧

製品構成

intra-mart Accel Platformのエディションに対し、intra-mart Accel Archiverでは以下のエディションが利用できます。

intra-mart Accel Platformのエディション	intra-mart Accel Archiverの利用可能エディション
Standard Editon	Standard Editonのみ利用可能
Advanced Editon	Advanced Editonのみ利用可能

intra-mart Accel Archiverのエディションにより以下の機能を利用することができます。

intra-mart Accel Archiverのエディション	利用可能機能
Standard Editon	「IM-Workflowとの連携機能」を除く全ての機能を利用できます。
Advanced Editon	全ての機能を利用できます。

機能一覧

以下に本製品の機能一覧を列挙します。

分類	内容
----	----

分類	内容
基本機能	■ フォルダ参照、登録、編集、削除、コピー、移動、プロパティの設定、タスクの設定、アクセス権設定 ■ ドキュメント参照、登録、編集、削除、コピー、移動、プロパティの設定、タスクの設定、アクセス権設定、関連ドキュメントの設定 ■ ドキュメント検索、タスク検索、全文検索 ■ プラグイン機能(レビジョン管理、公開処理、ポータルへの通知、IMBoxへの通知、メールでの通知、IM-Workflowとの連携、汎用テキスト(登録番号/キーワード/備考)) ■ タスクグループ登録、タスク登録 ■ サムネイル生成 ■ PDF変換 ■ セキュリティ設定(印刷制限、編集制限、テキスト抽出制限、ブラウザ以外の参照制限) ■ URLコピー ■ ドキュメントの保存場所を他ユーザへ通知
運用管理者機能	■ プロパティ相違ドキュメントの確認 ■ プロパティ相違ドキュメントを最終更新者へ通知 ■ タスクによるドキュメントの作成状況を確認 ■ フォルダ容量管理
ジョブネット	■ 公開日到達処理 ■ 通知日到達処理 ■ メール通知処理 ■ インポート ■ サムネイル作成 ■ 自動登録 ■ フォルダ使用量取得 ■ 再作成クローリング、差分クローリング、削除クローリング(IM-ContentsSearchクローラ配下に登録されます。)

分類	内容
ログ出力	■ ドキュメント操作 ■ コンテンツ操作 ■ フォルダ操作 ■ 全文検索 ■ タスク登録 ■ 公開日到達処理 ■ 通知日到達処理 ■ メール通知処理 ■ インポート ■ 自動登録 ■ サムネイル作成 ■ フォルダ使用量取得

システム要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2008 R2
	Windows Server 2012 R2 Update 1
	Red Hat Enterprise Linux 6
Java VM	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
Web Application Server	Resin 4.0.48
Database	Oracle Database 11g Release 2
	Oracle Database 12c
	PostgreSQL 9.2
	PostgreSQL 9.3
	PostgreSQL 9.4
Web Server	Microsoft SQL Server 2012
	Internet Information Services 7.5 (IIS)
	Internet Information Services 8.5 (IIS) win2012 R2
IM-Juggling	Apache HTTP Server 2.2, 2.4 (DSO サポート版)
	Windows 7 (32bit, 64bit)
LibreOffice	LibreOffice 5.0.5
(登録したコンテンツのPDF変換・サムネイル表示をLibreOfficeで実行する場合)	

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2015 Winter — 2016 Summer (Standard Edition, Advanced Edition)

- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。



注意

データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応していても、アプリケーションでは対応していない場合があります。

必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。

特定機能の利用時に必要となるサーバ要件

- IMBox を利用する場合
 - [5.2.1. Apache Cassandra システム要件](#)
- IM-ContentsSearch を利用する場合
 - [5.2.2. Apache Solr システム要件](#)
- IM-PDFAutoConverter を利用する場合（登録したコンテンツのPDF変換・サムネイル表示を IM-PDFAutoConverter で実行する場合）
 - [IM-PDFAutoConverter システム要件](#)
- IM-PDFCoordinator を利用する場合
 - [IM-PDFCoordinator システム要件](#)

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ
PC	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 11
			Google Chrome 49以上
			Firefox ESR 38.6
		Windows 8 Update	Internet Explorer 11
			Google Chrome 49以上
			Firefox ESR 38.6

Windows 8.1 Update	Internet Explorer 11 Google Chrome 49以上 Firefox ESR 38.6
Windows 10	Internet Explorer 11 Google Chrome 49以上 Firefox ESR 38.6



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。
例えば次の組み合わせはサポートの対象外となります。ご注意ください。

* Windows Server 2008 R2 + Internet Explorer 9 など



注意

スマートフォンには対応しておりません。

検証済み環境

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせとなります。

サーバ環境

スタンドアローン構成

OS	Java VM	Web Server	Web Application Server	Database
Windows Server 2008 R2	JDK8		Resin 4.0.48	PostgreSQL 9.4
Windows Server 2012 R2 Update 1	JDK8	Internet Information Services 8.5 (IIS) win2012 R2	Resin 4.0.48	Microsoft SQL Server 2012
Red Hat Enterprise Linux 6	JDK8	Apache HTTP Server 2.4.10	Resin 4.0.48	Oracle Database 12c



注意

intra-mart製品以外（OS、Java VM、Database、Mailサーバ等）に起因する問題はサポート対象外となります。

クライアント環境

OS	ブラウザ
Windows 7 SP1	Internet Explorer 11
	Google Chrome 49
	Firefox ESR 38.6
Windows 8.1	Internet Explorer 11
Windows 10	Internet Explorer 11

サードパーティライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
PDFRenderer	0.9.1	LGPL-2.1	https://java.net/projects/pdf-renderer
JODConverter	2.2.2	LGPL	http://www.artofsolving.com/opensource/jodconverter.html
juh	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
jurt	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
ridl	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
unoil	3.0.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/

制限事項

- ダウンロードするファイル名に「半角スペース」等の文字が含まれる場合、別の文字に変換されます。
この事象を回避するには、コンテンツとして登録するファイル名にこれらの文字を含まないようにしてください。
変換対象となる文字はブラウザによって異なりますのでご注意ください。
- ”.”(半角ピリオド)から始まるファイルはアップロードできません。
- PDF変換機能を利用している環境で、テキストファイルをコンテンツとして登録する場合、PDF変換機能の文字コードとテキストファイルの文字コードが異なる場合にテキストの内容が文字化けします。
これは IM-PDFAutoConverter もしくは LibreOffice の仕様により発生します。
この現象を回避するためには、登録するテキストファイルの文字コードをPDF変換機能の文字コードに合わせてください。
文字コードが異なる場合、正しくサムネイル化されない、冒頭のテキストデータが正しく表示されないなどの問題の発生する可能性があります。
- PDF変換できるファイル形式は、下記の通りです。
 - ・ IM-PDFAutoConverter を利用される場合
 - ワープロファイル (doc, docx, txt, rtf)
 - 表計算ファイル (xls,xlsx)
 - プレゼンテーションファイル (ppt, pptx)
 - ・ LibreOffice を利用される場合
 - ワープロファイル (doc, docx, txt, rtf, odt, ott, sxw, stw) ※
 - 表計算ファイル (xls, xlsx, ods, ots, sxc, stc)
 - プレゼンテーションファイル (ppt, pptx, odp, otp, sxi, sti)
 - 描画ファイル (odg, otg, sxd, std, wmf, emf)
 - (一太郎読み込み拡張アドオンを使用した場合、下記も対象となります)
 - jtd, jtt

※今後、LibreOffice のバージョンアップ等によって、一部ファイル形式が対応されなくなる可能性があります。
- コンテンツとして登録した際にファイルがサムネイル化されるかは、下記の通りファイル形式によって異なります。
 - ・ PDF変換ソフト (IM-PDFAutoConverter もしくは LibreOffice) が稼動していなくともサムネイル化されるファイル形式
 - PDFファイル (pdf)
 - 画像ファイル (png, bmp, gif, jpg, jpeg, jpe)
 - ・ PDF変換ソフトが稼動していないとサムネイル化されないファイル形式
 - 前述の「PDF変換できるファイル形式」で記載されているファイル形式を参照ください。
 - 該当しないファイル形式は、サムネイルの代わりにファイルアイコンが表示されます。
- PDF変換ソフトに IM-PDFAutoConverter を利用する場合、一時保存フォルダがC:/temp/iaaに作成されます。
一時保存フォルダの場所を変更したい場合はデータベースのwdcm_envテーブル・env_idカラムの値が'wdcenv_pdf_tempfolder'であるレコードのvalueカラムに変更先のフォルダのパスを設定してください。

- 登録したコンテンツに何も記載されていない場合、PDF変換対象となりません。
- iAAでは以下の方法で変換したPDFファイルで動作確認を行っています。
 - ・Adobe Acrobat XI
 - ・Microsoft office 2010
 - ・LibreOffice 5.0.5サムネイル機能を使用していない環境でもPDFファイルをコンテンツとして登録した場合は、サムネイル化、およびファイル内の記載されている冒頭のテキストデータを表示します。
動作確認している以外の方法でPDFファイルを作成した場合、正しくサムネイル化されない、冒頭のテキストデータが正しく表示されないなどの問題の発生する可能性があります。
- フォルダのコンテンツのセキュリティ設定で「ブラウザ以外の参照制限」にチェックを付ける事で、ブラウザ上以外でコンテンツを参照（コンテンツをダウンロードして参照）する事に制限をかけられますが、サポート対象外のブラウザでは、ブラウザ上での参照にも制限がかかります。
サポート対象は、IM-PDFCoordinatorのサポート対象に準じます。
[IM-PDFCoordinator システム要件のクライアント要件](#) に記載してある、セキュリティ機能の動作条件を参照してください。
- iAAからは以下の仕様でIM-共通マスタの情報を参照します。
そのため、該当するマスタの期間情報、およびマスタ情報自体の削除・無効化は行わないようにしてください。
 - ・ドキュメントの「作成者」情報について
該当するユーザの名称は、ドキュメント登録時点での期間情報を参照します。
 - ・その他の「ユーザ」「組織」「ロール」「パブリックグループ」を取得する情報について
該当する名称、所属情報などは、最新の期間情報を参照します。
- システムにアップロードするファイルの上限サイズは、システムに影響が出ない範囲で設定してください。
極端に大きいファイルサイズの場合、予期せぬエラーが発生しアップロードできない可能性があります。
- ベースURLが設定されていない場合、ドキュメントの通知・プロパティ相違の通知の機能における「メール」「IMBox」に表示されるURLは、ベースURL部分が表示されません。
この事象を回避するには、ベースURLを設定してください。設定方法は [intra-mart Accel Platform セットアップガイドの5.3.2.2. ベースURL](#) を参照してください。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iaa>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみ、当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上